

～おめでとうございます～

令和6年 春の叙勲

叙勲とは、国家または公共に対し功労のある人、社会の各分野で優れた行いをした人などを国が表彰するものです。令和6年春の叙勲を受けた人を紹介します。



川崎 喜久治 さん
瑞宝単光章

多年にわたり消防団員として活動し、釜石市消防団団長を務めました。



後川 司 さん
瑞宝単光章

多年にわたり消防団員として活動し、第8分団分団長を務めました。

5月26日 Welcome to Bambi はっぴいすぷりんぐ
【釜石市民ホール TETTO】

子どもも大人も「はっぴい」に

かまいしこども園子育て支援センターバンビルームの開設10周年を記念したイベント「Welcome to Bambi はっぴいすぷりんぐ」が行われ、親子連れで大いににぎわいました。中でも、男性保育士によるユニット「チームファンタジスタ」のパフォーマンスでは、子どもたちも大はしゃぎで一緒にダンスを踊り、会場がたくさんの笑顔であふれました。その他にも、ハーブティーやアロマハンドトリートメント、バイオリンとピアノの演奏などでママたちがほっと一息つくコーナーも設けられ、子どもも大人も楽しめるイベントとなりました。



6月1日・2日 第39回岩手県クラブユースサッカー選手権(U-15)大会【釜石球技場】

FC釜石が東北大会出場へ

FC釜石が、県内の15歳以下のクラブユースチームなどで争われる大会で4位に輝き、東北大会出場を決めました。

東北大会の最後の出場枠を決める代表決定戦では「盛岡太田東ジュニアユース」とPK戦にまでもつれる熱戦を繰り広げ、見事最後の切符を勝ち取りました。

FC釜石の東北大会の初戦は、6月15日に山形県天童市で行われます。



5月2日 【甲子町】

祖父から受け継いだ水田を守りたい

昨年10月に亡くなった祖父の水田を受け継ぎ、米作りに挑戦している釜石出身で都内在住の大井祥紀さん(写真左)が、仲間を募り田植えイベントを行いました。大井さんは、このイベント開催の経緯を「農業の経験はなかったが、祖父が愛情を注いで管理してきた水田を守り、恩返しをしたい。米作りを通して、人々の絆を結ぶ新しい場づくりを目標としている」と笑顔で語りました。

水田管理や体験、交流希望者を募集しています。問い合わせ 大井さん☎080-4155-8001



5月17日 釜石応援ふるさと大使委嘱状交付式【東京都】

ぴあ(株)矢内社長が釜石応援ふるさと大使に

チケット販売をはじめ、コンサートなどの企画や運営を行うぴあ(株)の創業者であり、現在も社長を務める矢内廣さんを「釜石応援ふるさと大使」に委嘱しました。

～矢内さんと釜石のつながり～

矢内さんが代表理事を務めていた一般社団法人チームスマイルの活動の一環で、本市にも「チームスマイル・釜石PIT」を開設するなど、エンタテインメントを通じた心の復興活動を展開していただきました。今後は、釜石応援ふるさと大使として、釜石の魅力の発信にご協力いただきます。



5月19日・5月25日 日本製鉄釜石シーウェイブス入替戦【いわぎんスタジアム他】

ディビジョン2残留を決める勝利

日本製鉄釜石シーウェイブスが、ジャパンラグビーリーグワンのディビジョン2/3の入替戦で第1戦・第2戦ともに、クリタウォーターガッシュ昭島に勝利し、ディビジョン2残留を決めました。

アウェーで臨んだ第2戦は、前半を24-14とリードして折り返したものの、後半は立て続けに得点を奪われ24-26と逆転を許す苦しい展開に。それでも、後半34分から3トライを奪うなど再度逆転し、41-26で勝利しました。



5月18日 釜石駅前花植え活動【釜石駅前】

ボランティアの力で釜石駅前を華やかに

毎年恒例の釜石駅前広場の花植え作業が行われ、赤十字奉仕団、市内高校生、民間企業などから約50人が集まり、約500株の花苗を植えました。この活動は、ボランティア活動によって平成24年から継続して行われているものです。

今後は水やりや除草作業などを継続して行い、釜石の玄関口の美化に協力していく予定です。

